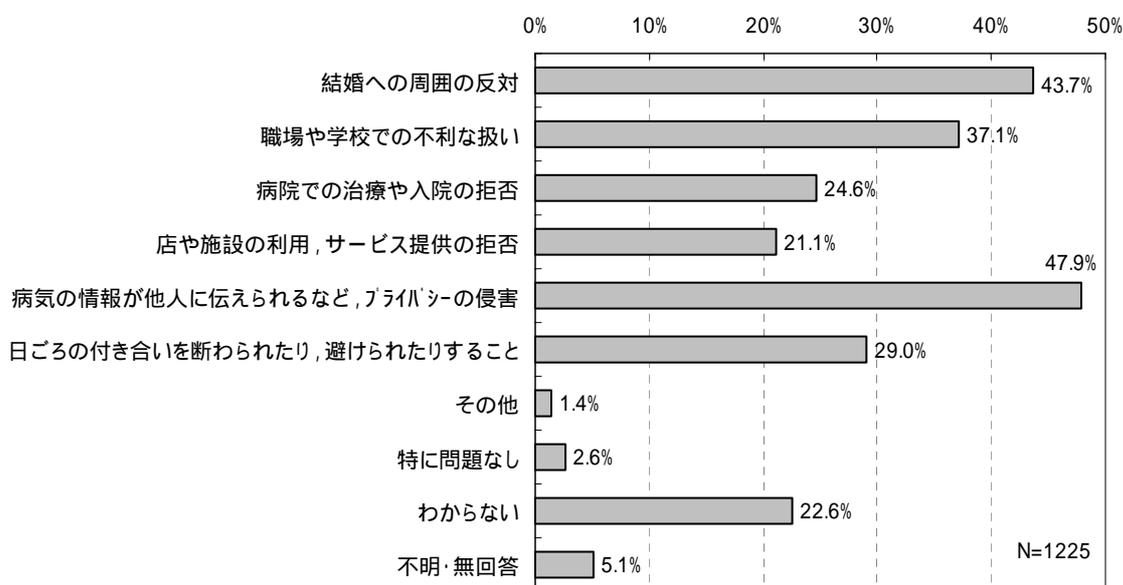


感染症患者等に関する人権上の問題と解決に必要な取組

問 19 感染症患者等（HIV 感染者，ハンセン病患者など）に関する人権上の問題について，現在，特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（はいくつでも）



「病気の情報が他人に伝えられるなど，プライバシーの侵害」（47.9%）が最も高く約5割となっている。次いで「結婚への周囲の反対」（43.7%），「職場や学校での不利な扱い」（37.1%）となっている。

性別・年齢別

(%)

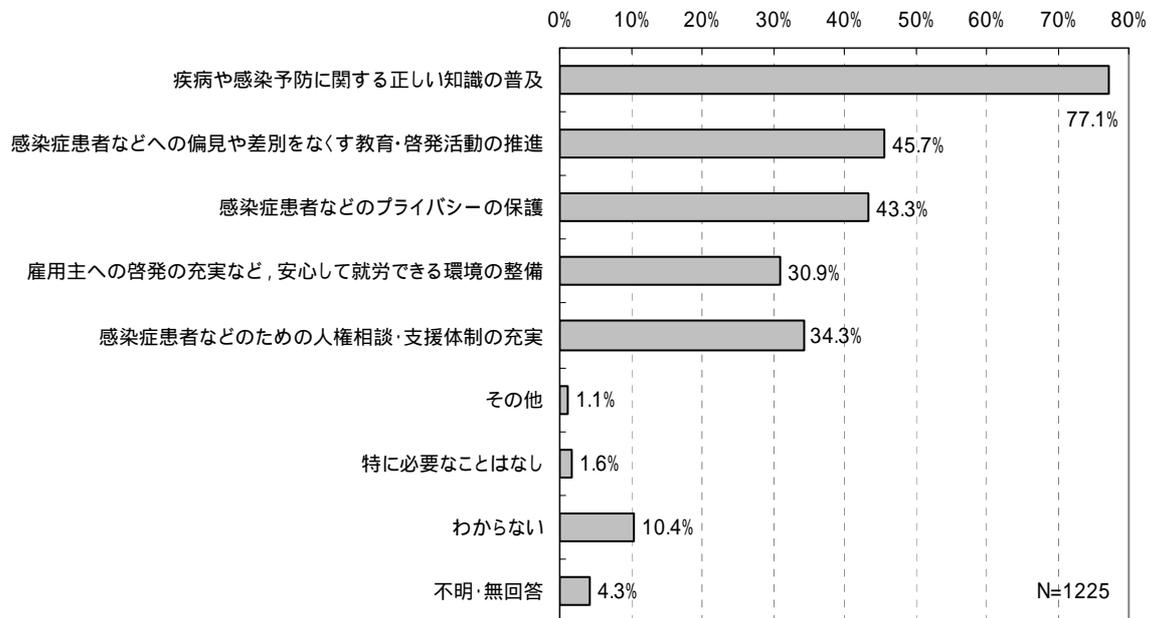
		結婚への周囲の反対	職場や学校での不利な扱い	病院での治療や入院の拒否	店や施設の利用、サービスマンの拒否	病気の情報が他人に伝えられるなど、プライバシーの侵害	日ごろの付き合いを断わられたり、避けられたりすること	その他	特に問題なし	わからない
全体	N=1225	43.7	37.1	24.6	21.1	47.9	29.0	1.4	2.6	22.6
男性	N=532	40.0	36.8	21.6	19.9	49.2	29.1	1.3	2.6	22.2
女性	N=677	47.1	37.8	27.0	22.2	47.6	29.2	1.5	2.7	23.0
20歳代	N=135	32.6	39.3	20.0	20.7	54.1	34.8			19.3
30歳代	N=189	45.0	43.9	31.7	22.2	66.7	43.4	1.6	0.5	13.2
40歳代	N=178	50.6	42.7	32.0	29.2	61.8	34.8	1.7	1.7	11.8
50歳代	N=238	46.6	45.4	29.4	25.2	47.1	32.4	2.9	3.8	23.9
60歳代	N=238	45.4	32.8	19.3	18.1	39.5	19.7	1.3	3.8	27.7
70歳以上	N=234	40.2	23.1	16.2	13.2	29.5	16.2	0.4	4.3	33.8

性別で見ると、男女とも「病気の情報が他人に伝えられるなど、プライバシーの侵害」が最も高くなっている。また、「結婚への周囲の反対」については、女性の方が高くなっている。

年齢別で見ると、20歳代から50歳代では「病気の情報が他人に伝えられるなど、プライバシーの侵害」が、60歳代以上では「結婚での周囲の反対」が最も高くなっている。

また、「病気の情報が他人に伝えられるなど、プライバシーの侵害」や「日ごろの付き合いを断わられたり、避けられたりすること」については、50歳代以下と60歳代以上の年齢層で差が見られる。

問 20 感染症患者等の人権が守られるために 特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(はいくつでも)



「疾病や感染予防に関する正しい知識の普及」(77.1%)が最も高く約8割となっている。次いで、「感染症患者などへの偏見や差別をなくす教育・啓発活動の推進」(45.7%)、「感染症患者などのプライバシーの保護」(43.3%)となっている。

性別・年齢別

(%)

		疾病や感染予防に関する正しい知識の普及	感染症患者などへの偏見や差別をなくす教育・啓発活動の推進	感染症患者などのプライバシーの保護	雇用主への啓発の充実など安心して就労できる環境の整備	感染症患者などのための人権相談・支援体制の充実	その他	特に必要なことはなし	わからない
全体	N=1225	77.1	45.7	43.3	30.9	34.3	1.1	1.6	10.4
男性	N=532	73.7	43.2	40.2	28.6	31.2	1.3	2.1	11.1
女性	N=677	80.9	48.2	46.4	33.1	37.1	1.0	1.2	9.6
20歳代	N=135	80.0	49.6	42.2	34.1	28.9	0.7		7.4
30歳代	N=189	87.8	45.5	52.9	36.0	39.2	2.6		5.8
40歳代	N=178	83.7	46.1	46.1	30.9	34.8	1.1	1.1	4.5
50歳代	N=238	83.2	49.6	45.4	42.0	41.2	1.3	2.9	8.8
60歳代	N=238	73.5	44.5	37.4	25.6	33.2	0.4	1.7	13.4
70歳以上	N=234	61.5	41.5	39.3	19.7	27.8	0.9	2.6	18.4

性別で見ると、男女とも「疾病や感染予防に関する正しい知識の普及」が最も高く、女性では8割を超えている。

年齢別で見ると、すべての年齢層で「疾病や感染予防に関する正しい知識の普及」が最も高く、30歳代から50歳代では8割を超えている。